

国立研究開発法人情報通信研究機構
令和元年度第2回契約監視委員会議事概要

1. 日時

令和元年12月23日(月)14:00~16:00

2. 場所

NICT 大手町第1、2会議室

3. 出席者(委員(敬称略、五十音順))

| | |
|-------|-------------------------|
| 加藤 暢一 | (加藤公認会計士事務所) |
| 手塚 悟 | (慶應義塾大学・環境情報学部 教授) |
| 徳永 誠司 | (情報通信研究機構 監事) |
| 名越 秀夫 | (インテックス法律特許事務所 弁護士・弁理士) |
| 松田 修一 | (委員長・早稲田大学 名誉教授) |

4. 開会

情報通信研究機構田尻理事より挨拶があった。

5. 議事

- (1)「委員互選による委員長の選出」
- (2)「委員長の職務の代行について」
- (3)「令和元年度上半期の実績」
- (4)「令和元年度調達等合理化計画に基づく取組み」
- (5)「令和元年度調達等合理化計画の変更案」

6. 議事概要

- (1)「委員互選による委員長選出」

国立研究開発法人情報通信研究機構契約監視委員会設置要綱第5条第1項に基づき、松田委員に引き続き委員長を委嘱し、全委員の了解を得た。

- (2)「委員長の職務の代行について」

国立研究開発法人情報通信研究機構契約監視委員会設置要綱第5条第3項に基づき、委員長に事故があるときの職務の代行については、代理を徳永委員にお願いし、徳永委員の了解を得た。

- (3)「令和元年度上半期の実績」

情報通信研究機構からの説明に基づき、

1. 契約実績の傾向

2. 競争性のない随意契約に関する調達
3. 一者応札・応募の状況
4. 2カ年連続一者応札・応募の状況

について、その内容を点検及び確認した。

なお、2カ年連続一者応札・応募に関する点検について、契約金額（5,000万円以上、あるいは5,000万円未満）別の選定条件を示し、次回委員会で点検いただきたい旨提案し、了承された。

○ 委員からは、以下の質問があった。（ ）内は機構からの回答。

・複数年契約はだんだん多くなる傾向にあるのか。

（多くなる傾向にある。契約を複数年化することで、事業者において安定的な人材の確保ができるというメリットがある。）

・毎年のように発生する自然災害に伴い、緊急を要する特別な工事はあったのか。

（緊急案件として、鹿島宇宙技術センターの大型パラボラアンテナの台風被害について、安全確保のため工事を行った。）

（4）「令和元年度調達等合理化計画に基づく取組み」

情報通信研究機構からの説明に基づき、

1. 重点的に取り組む分野（競争性のない随意契約に関する調達、一者応札・応募の改善）
2. 調達に関するガバナンスの徹底（随意契約に関する内部統制の確立、公平性・透明性・競争性の確保、契約権限の明文化、適正な検収の実施、不祥事の発生未然防止・再発防止のための取組み）

について、その内容を点検及び確認した。

（5）「令和元年度調達等合理化計画の変更案」

情報通信研究機構からの説明に基づき、内容を確認した。

以上